

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
基礎看護学実習Ⅱ	2単位 (90時間)	益満 恵美子 (臨床経験9年)	2年前期

【学習目標】

健康障害により入院生活を送っている対象を受け持ち、看護過程を展開する基礎的な能力と、看護職として必要な態度を修得する

【学習活動】

- 1 看護者としての基本的姿勢について考え行動する
- 2 他者とよりよい人間関係を成立させることができる
- 3 対象の状態に合わせた援助を考える
- 4 対象に合わせた看護過程を展開する基礎を学ぶ
- 5 看護者としての自己のあり方を考える

【授業の進め方】

患者受け持ち制による看護実践

- | | |
|----------------------|----------|
| 1 実習オリエンテーション | (90分) |
| 2 実習準備 | (90分) |
| 3 臨地実習 | 7時間×12日間 |
| 臨地オリエンテーション | |
| 日常生活援助の見学・一部介助 | |
| 受け持ち患者の情報収集と整理 | |
| 受け持ち患者のアセスメント・全体像の把握 | |
| 受け持ち患者の看護問題の抽出・整理 | |
| 受け持ち患者の看護計画作成・実施 | |
| まとめのカンファレンス | |
| 4 学びの共有 | (90分) |
| 5 学びの共有 発表会 | (90分) |

【教科書】

実習内容に関連する教科書

【参考書】

学習内容関連書、看護過程授業資料

【評価方法】

実習評価表に基づき評価

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
基礎看護学実習Ⅲ	2 単位 (90 時間)	ペタス 裕子 (臨床経験 16 年)	2 年後期

【学習目標】

対象を科学的思考に基づき総合的に理解し看護実践ができる

【学習活動】

- 1 看護者としての基本的姿勢について考え行動する
- 2 他者と関係を築くためのコミュニケーションをとることができる
- 3 対象の状態に合わせた援助ができる
- 4 対象に合わせた看護過程を展開する基礎を学ぶ
- 5 看護者として自己の在り方を考える

【授業の進め方】

患者受け持ち制による看護実践

- 1 実習オリエンテーション (90 分)
- 2 実習準備 (90 分)
- 3 臨地実習 7 時間×12 日間
臨地オリエンテーション
日常生活援助の見学・一部介助
受け持ち患者・家族についての情報収集と整理
受け持ち患者のアセスメント・全体像の把握
受け持ち患者の看護問題の抽出・整理
受け持ち患者の看護計画立案・実践
まとめのカンファレンス
- 4 学びの共有 (90 分)
- 5 学びの共有 発表会 (90 分)

【授業スケジュール】

臨地実習および学内実習を合わせて 12 日間

【教科書】

実習内容に関連する教科書

【参考書】

学習内容関連書

【評価方法】

実習評価表に基づき評価

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時間																								
地域・在宅看護実習 I	1 単位 (45 時間)	松沢 土子 (臨床経験 26 年)	2 年前期																								
<p>【学習目的】 地域で生活する人々と家族を理解し、多様な場での暮らしを支える看護の基礎を学ぶ</p> <p>【学習目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域における高齢者の暮らしを知る 2 地域で暮らす高齢者を支える施設の機能や看護師の役割を理解する <p>【学習活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 実習生としての基本的姿勢について考え行動できる 2 高齢者の生活について理解できる 3 対象に合わせた必要な援助を理解できる 4 地域で暮らす高齢者の生活を支えている施設について理解できる <p>【授業の進め方】</p> <table border="0"> <tr> <td>1 実習オリエンテーション</td> <td>90 分</td> </tr> <tr> <td>2 実習準備</td> <td>90 分</td> </tr> <tr> <td>3 施設実習</td> <td></td> </tr> <tr> <td> ①施設オリエンテーション</td> <td></td> </tr> <tr> <td> ②コミュニケーション、レクリエーションの参加</td> <td></td> </tr> <tr> <td> ③日常生活ケアの見学・実施</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 地域で暮らす住民の理解</td> <td></td> </tr> <tr> <td> ①オリエンテーション</td> <td></td> </tr> <tr> <td> ②住民の地域活動（マレットゴルフ）への参加</td> <td></td> </tr> <tr> <td> ③コミュニケーション</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5 学びの共有</td> <td>90 分</td> </tr> <tr> <td>6 学びの共有 発表会</td> <td>90 分</td> </tr> </table> <p>【実習スケジュール】 臨地場所及び学内実習合わせて 6 日間</p> <p>【教科書】 系統看護学講座 老年看護学 医学書院 ナーシンググラフィカ 地域療養を支えるケア 地域・在宅看護論① メディカ出版</p> <p>【参考書】 学習内容関連書</p> <p>【評価方法】 実習評価表に基づき評価</p>				1 実習オリエンテーション	90 分	2 実習準備	90 分	3 施設実習		①施設オリエンテーション		②コミュニケーション、レクリエーションの参加		③日常生活ケアの見学・実施		4 地域で暮らす住民の理解		①オリエンテーション		②住民の地域活動（マレットゴルフ）への参加		③コミュニケーション		5 学びの共有	90 分	6 学びの共有 発表会	90 分
1 実習オリエンテーション	90 分																										
2 実習準備	90 分																										
3 施設実習																											
①施設オリエンテーション																											
②コミュニケーション、レクリエーションの参加																											
③日常生活ケアの見学・実施																											
4 地域で暮らす住民の理解																											
①オリエンテーション																											
②住民の地域活動（マレットゴルフ）への参加																											
③コミュニケーション																											
5 学びの共有	90 分																										
6 学びの共有 発表会	90 分																										

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授 業 時 期
小児看護学実習 I	1 単位 (45 時間)	佐藤 理紗 (臨床経験 7 年)	2 年後期

【学習目標】

健康な乳幼児期の子どもと触れ合い子どもへ関心を深め、成長発達段階やその特性を理解する

【学習活動】

- 1 実習生としての基本的姿勢について考え行動できる
- 2 幼児期の成長発達段階や子どもの特性について、観察を通して学ぶことができる
- 3 幼児期における情緒・社会性の発達を知り、望ましい関わり方について考えることができる
- 4 基本的な生活習慣獲得段階や保育士の関わりを知ることで、個々の児の力を伸ばす関わりについて考えることができる

【授業の進め方】

- | | |
|--|---------------------|
| 1 実習オリエンテーション | 90 分 |
| 2 自己紹介準備 (ネーム・お面作成) | 90 分 |
| 3 自己紹介リハーサル | 60 分 |
| 4 保育園実習 | 7 時間 × 5 日間 (35 時間) |
| 0 歳～年長までの年齢別のクラスに入り実践
オリエンテーション
保育活動の見学・参加
カンファレンス(毎日)
まとめのカンファレンス(園長) | |
| 5 学びの共有 | 180 分 |
| 6 学びの共有会 | 180 分 |

【教科書】

実習内容に関連する教科書

【参考書】

学習内容関連書

【評価方法】

実習評価表に基づき評価